

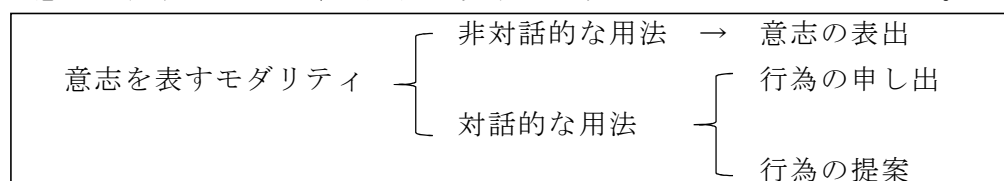
意志を表すモダリティ表現としての「つもりだ」の機能

許 明子^{ホ ミヨウジヤ}（筑波大学）

「つもりだ」は話し手の意志を表すモダリティ表現の一つである。したがって、発話時の話し手の意志・意向・願望などの意味を表すとともに、聞き手に対して話し手の事柄のとらえ方、働きかけを伝える表現である。本研究では、コーパスに見られる日本語学習者と日本語母語話者の「つもりだ」の用例を分析し、日本語教育現場で教えるべき「つもりだ」の用法について検討を行う。

1. 意志を表すモダリティとは

日本語記述文法研究会（2003：51-59）によれば、意志を表すモダリティは「話し手が自分自身の行為の実行を決定したことを表すものである」と定義され、基本的な形式である「しよう」のほかに「する」「つもりだ」「気だ」「まい」などの形式が意志を表すモダリティの働きを持っていると述べられている。「つもりだ」あは「しようと思っている」と近い意志を表しており、「しよう」が発話時点でその行為を実行するという意味を表すのに対して「つもりだ」は発話時以前から決めていた計画としての意志を表すとされている。「しよう」の意志を表すモダリティの用法は以下のようにまとめることができる。



「非対話的な用法」と「対話的な用法」の違いは聞き手の存在の有無であり、話し手の意志や行為が聞き手と関係づけられるかどうかによってモダリティとしての機能が異なる。

2. 日本語教育現場での問題点

話し手の信念を表したり、話し手の意図と実際の不一致を表したりする「つもりだ」は指摘されているが（友松ほか 2007：158）、それらの用法が日常の場面で使われており、その意味は多岐にわたる。しかし、日本語教育の現場では、意志モダリティを指導する際に話し手の意志や意図を表す表現として指導されることが多く、対話的な用法については注意が向けられていないのが現状であると思われる。(1) のような話し手の予定や計画を表す表現は習得されやすい。

(1) は一いえっと、んー、今晚えー日本のお茶大の学生は、ワークショップがありますから、えー行くつもりです。(I-JAS、EAU20-I 英語話者)

しかし、日本語学習者が使用する「つもりだ」の誤用には、次の例のような聞き手に対して働きかけを行う対話的な用法の誤用例も少なくない。

(2) ?先生、私は明日、大使館に行くつもりです。

(3) ?先生、来週は学会があるから日本語の授業を休むつもりです。

また、日本語学習者の「つもりだ」の誤用の傾向について、市川（1997：5）では「つもりだ」の「付加」の誤用例として(4)のような誤用例を挙げている。

(4) *あしたパーティへ行くつもりですか。

誤用例(4)は目上の人に対して疑問の形で意志や意向を聞いているために失礼になる誤用例である。「つまりですか」「たいですか」のような私的領域に関わる述語の場合、直接的に相手に質問する表現は失礼になるため、不自然である(益岡 1997:8)。以上のように、「つもりだ」が聞き手に働きかけを行う対話的な用法として使われた場合、文法的に、または語用的に不自然な表現になるが、日本語教育現場ではこのような指摘がほとんどなされていない。本研究では、「つもりだ」の日本語教育現場への応用を目指して、コーパスで使われている用例を分析し、どのような機能を持っているかについて考察した。

3. コーパスデータの分析

話し言葉コーパス(日本語話し言葉コーパス CSJ、名大コーパス)に使われている日本語母語話者の使用例から「つもりだ」の用法の分析を行った。その結果、以下の(5)~(8)のように前置きとして部分否定の形で使われたり、文末に否定の形で使われたりしており、多様な形式で使われていることが分かった。

(5) 使わないで倉庫にしまってしまうものそんなものが結構買う場合が多いです。うるさく言うつもりははないんですが、やはり一つ一つ商売の元にならなければいけません、(CSJ、S04M0759) [意見表出]

(6) うんうん別にケ、ケチるはなかったんだけどめんどくさい。うん、めんどくさいのよね特にねえ、昼間、もうあんまり歩き回っていると、もう夜、そんなに出かけたくなくなっちゃってね。(名大コーパス data031) [言い訳]

(7) 今日ちょっと時間がなくて。あ。あ、ちがう。いえいえいえ。そういうつもりなかった、ごめん。ああ、いいよそんな。あの、いちいち持たなくても。(名大コーパス data113) [謝罪] [言い訳]

(8) うちの母ねー、絶対自分で味見しないんですよー。どういうつもりなのと思うんだけど。いやー、おもしろーい(名大コーパス data015) [非難]

(9) 何かゆれながら歩いてる。あやしい。こわーい。何なんだー。もしかして枯葉のつもりであるいてる。カムフラージュのために。違うか。わかんないけど。風に吹かれてるふりして?風に吹かれて。そう、そう、そう、そう。でもカマキリってそんなことしないのかー。(名大コーパス data016) [擬人化]

用例(5)~(7)では「前置き」として使われ、(5)は話し手の強い「意見表出」、(6)(7)は話し手の「言い訳」の意味を表している。(8)は「どういう」と一緒に使われ、相手の行為に対する「非難」の意味を表している。また(10)のように「カマキリ」の擬人化した表現として使われる例も数例見られた。このように「つもりだ」は聞き手に対して言い訳や弁明、謝罪、非難、擬人化等の意味を表すモダリティ表現として多様な機能を持っている。日本語教育現場では「つもりだ」にも「しよう」と同様に対話的な用法として意志を表すモダリティ表現であることをもっと指導する必要がある。

参考文献

- 市川保子(1997)『日本語誤用例文小辞典』凡人社
友松悦子・宮本淳・和栗雅子(2007)『どんな時どう使う日本語表現文型辞典』アルク
日本語記述文法研究会(2003)『現代日本語文法4』くろしお出版
益岡隆志(1997)「表現の主観性」『視点と言語行動』くろしお出版

<https://chunagon.ninjal.ac.jp/ijas/search>

<https://chunagon.ninjal.ac.jp/nuc/search>